

学科 学年	E 3	科目, 分類	機械工学概論[機械概] Introduction to Mechanical Engineering	講義, 必修	通年 2 単位	担 当	小林隆志 Takashi Kobayashi
<p>【内容と目標】この授業では機械の設計から製作までの流れを理論と実践により修得することを目指している。具体的にはまず、実習工場における工作実習によって代表的な機械加工法を体験し、加工原理および工作機械の構造を理解する。また測定法についても学ぶ。次いで、機械設計の基礎となる材料力学、機械材料の特性に関して、電気工学を専攻する学生にも理解できるように平易に解説する。</p> <p>【教科書等】・入門材料力学（技術評論社） ・プリント、ビデオ</p> <p>【評価方法】定期試験成績，実習報告書，授業態度等により総合的に評価する。</p> <p>【関連科目】図学・製図</p>							
授 業 計 画							
<p>第 1 週 導入教育（実習教育の概要と安全教育）</p> <p>第 2 週 旋削関係（汎用旋盤による外径，端面，段付き加工）</p> <p>第 3 週 手仕上げ関係（ヤスリ，鋸，ボール盤を利用した段付きブロックの加工）</p> <p>第 4 週 測定関係（マイクロメータを利用した内・外径測定）</p> <p>第 5 週 C A D（概要説明，取り扱い）</p> <p>第 6 週 M C 関係（マシニングセンターを利用するためのプログラミングとその加工）</p> <p>第 7 週 N C 関係（ワイヤーカットを利用するためのプログラミングとその加工）</p> <p>第 8 週 学習した実習教育に関する自由討論と感想文の作成</p> <p>第 9 週 機械の設計と製作法の概略</p> <p>第 10 週 力とモーメント，内力と外力</p> <p>第 11 週 応力とひずみ</p> <p>第 12 週 応力とひずみの関係，材料の特性（疲労，クリープ，衝撃）</p> <p>第 13 週 フックの法則，縦弾性係数，ポアソン比</p> <p>第 14 週 許容応力と安全率</p> <p>第 15 週 < 前期末試験 ></p> <p>第 16 週 垂直応力，垂直ひずみ，伸びの計算</p> <p>第 17 週 引張と圧縮の不静定問題</p> <p>第 18 週 熱応力</p> <p>第 19 週 内圧を受ける薄肉円筒</p> <p>第 20 週 はりの種類と荷重の種類</p> <p>第 21 週 支点反力と固定モーメント</p> <p>第 22 週 < 後期中間試験 ></p> <p>第 23 週 はり内部のせん断力と曲げモーメント</p> <p>第 24 週 せん断力線図と曲げモーメント線図</p> <p>第 25 週 はりの曲げ応力</p> <p>第 26 週 断面二次モーメント，断面係数</p> <p>第 27 週 はりのたわみ</p> <p>第 28 週 はりの強度設計</p> <p>第 29 週 まとめ</p> <p>第 30 週 < 学年末試験 ></p>							
<p>【備 考】第 2 週から第 7 週は 6 班に分かれて，6 週で 6 テーマの工作実習を行なう。実習終了後は座学となる。</p>							